

日本光学会平成 18 年度第 3 回常任幹事会議事録

日 時： 2007 年 3 月 22 日(木) 13:30~17:30

場 所： 応用物理学学会会議室

出席者： 伊東幹事長，他 24 名

議 事：

1. 第 180 回幹事会議事録の確認

- ・日本光学会第 180 回幹事会議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・発刊作業の進捗が報告された。
- ・平成 19 年度「光学」編集委員の一覧が報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文状況が報告された。
- ・「OPTICAL REVIEW」編集委員に関し，交代候補が示された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・Springer との MOU 更新に関し，Springer 側からの回答を精査中との報告があった。
- ・OR 出版費用および IPAP 業務委託費等が報告された。

2-3. 講演会関連報告

(1) 第 41 回サマーセミナー進捗報告

- ・テーマに関し「光とナノスケールの世界」が提案され，承認された。
- ・講師案（6 名）が報告された。

(2) 第 33 回冬期講習会収支報告

- ・暫定収支報告が行われた。

(3) 第 40 回光学五学会関西支部連合講演会結果報告

- ・参加総数は 70 名，盛況であったとの報告があった。
- ・会計報告に関しては，次回幹事会で行うとの報告があった。

(4) 平成 18 年度関西講演会結果報告

- ・参加総数は 30 名，質が高く有意義な講演会であったとの報告があった。

(5) 平成 18 年度名古屋講演会結果報告

- ・参加者は約 40 名，実りある講演会であったとの報告があった。

(6) 第 32 回光学シンポジウム進捗報告

- ・7 名の招待講演およびプログラムが確定し，順調な進捗であるとの報告があった。

(7) OPJ 2007 進捗報告

- ・開催日が 2007 年 11 月 26 日(月)~28 日(水) に変更となったことが報告された。
- ・OPJ 2007 実行委員が報告された。プログラム委員の報告は，次回幹事会で行う予定との報告があった。
- ・プログラムの進捗状況が示され，OPJ 2007 でも各シンポジウムで他学会との共催を行う予定との報告があった。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・2 件の協賛依頼について承認された。

(2) 会員動静

- ・大きな会員数の変動はないことが報告された。

(3) 収支計算書

- ・平成 19 年 1 月 1 日から 2 月 28 日までの収支計算書が示された。
- ・平成 18 年度収支決算書が示された。

(4) 研究グループ活動報告

- ・平成 18 年度研究グループ事業報告がされ，すべての研究グループで活発な活動が行われたことが報告された。

(5) 光学論文賞副賞について

- ・例年光学論文賞副賞であったクリスタルの盾に代わる新たな副賞を今後選定する必要があることが報告された。

(6) サマーセミナー担当者について

- ・忠永修氏（NTT）が次年度幹事選挙まで幹事代理としてサマーセミナー担当の職に就くことが承認された。

(7) 産学官連携推進事業活動報告

- ・産学官連携推進事業報告および平成 19 年度活動方針報告がなされた。

(8) 会員制度委員会報告

- ・前回の幹事会で議論に上がった新役職の設立に関して，委員内で意見が分かれ，集約に至っていないことが報告された。

(9) 500 人会員増委員会報告

- ・500 人会員増委員会の活動報告がなされ，来年度は会員勧誘の特典（案）の絞り込みと，会員構成のさらなる詳細な調査が必要であるとの報告があった。

3. 審議事項

(1) 産学官連携推進事業活動報告

- ・産学官連携推進事業の委員長を，山本公明氏から谷田純氏へ交代することが承認された。

- (2) 国際協力支援金について
- 平成 17 年度第 1 回常任幹事会で提案された「日本光学会国際協力支援金に関する内規(案)」が、提案されたまま今に至っている件で説明があり、内容を改めて検討したのち幹事会の審議にかけることが報告された。
- (3) ODF'08 支援金申請について
- ODF'06 開催報告がなされた。
 - ODF'08 は 2008 年 6 月 9 日～11 日に、台湾で開催予定であることが報告された。
 - 海外開催での支出の増加に伴い活動助成金が申請され、予算外支出の特例として承認された。
- (4) 総会資料(事業報告・会計報告)について
- 3 月 28 日開催の日本光学会総会で使用する事業報告書および会計報告書が示された。
- (5) 研究グループ補助金申請について
- 平成 18 年度研究グループ会計報告が行われた。
 - 11 研究グループのすべてから日本光学会へ補助金の申請があり、全件承認された。
- (6) 光学会ロゴについて
- 「光学」7 号掲載予定の日本光学会年次報告について、平成 18 年度から OPJ についても行うことが報告された(執筆者は OPJ 推進委員長)。
 - 光学会ロゴに関しては、5 月幹事会で新ロゴマーク候補を発表する予定との報告があった。
- (7) 日本光学会ホームページ改善について
- ホームページリニューアル後のアクセス状況について報告があった。
 - 日本光学会ホームページ掲載およびリンクに関するガイドライン(案)が提案され、承認された。
- (8) 会員制度委員会委員長および 500 人会員増委員会委員長について
- 平成 19 年度会員制度委員会委員長を渡辺副幹事長、平成 19 年度 500 人会員増委員会委員長を笹木副幹事長へ交代することが提案され、承認された。
- (9) その他
- 光学奨励賞選考委員長を、植田「OPTICAL REVIEW」編集委員長から、石井「OPTICAL REVIEW」出版委員長へ交代することが提案され、承認された。

第 181 回幹事会

2007 年 5 月 25 日(金)に、東京理科大学・森戸記念館(神楽坂)第 1 会議室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、第 33 回冬期講習会収支報告、第 40 回光学五学会関西支部連合講演会収支報告、

カラーフォーラム JAPAN 2006 収支報告、第 41 回サマーセミナー進捗報告、第 32 回光学シンポジウム進捗報告、平成 19 年度電気関係学会北陸支部連合大会進捗報告、OPJ 2007 進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、会計から、会員制度委員会報告、500 人会員増委員会報告、光学会ホームページ、産学官連携推進事業について報告がなされました。さらに、年度計画、光学論文賞選考委員会、光学論文賞募集要項、奨励賞審査委員、幹事選挙、OPJBP 賞規定・選考規定改定、「光学」の JST 電子アーカイブ申請、日本光学会ロゴマーク、講演会関連報告の様式、国際協力支援金規定・申請書、メーリングリスト使用に関する内規改定、応用物理学会薄膜・表面分科会からのメーリングリスト配信依頼、海外の光学会との協力について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 37 巻第 9 号に掲載予定です。

平成 19 年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し、下記のごとく光学論文賞を贈っています。本論文賞は 48 年の歴史を持ち、光学奨励賞とともに日本光学会の活動度を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞規定については本号 422 ページをご覧ください。光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰の年に満 40 歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員であり、本年 9 月末日までの 1 年間に発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第 1 著者。詳細は光学論文賞規定をご覧ください。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢(公募締切日における)、勤務先、勤務先所在地、自宅住所、連絡先、電子メールアドレス、候補論文(1 編)および関連論文名のリスト、推薦理由(自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点等を 1000 字以内でわかりやすく記す)、候補論文別刷 10 部(コピー可、関連論文があれば 2 編以内でそれらの別刷またはコピーを 1 編につき 10 部ずつ添付)、他薦の場合は推薦者の氏名、勤務先、勤務先所在地、連絡先、電子メールアドレス。

書類提出期限：2007 年 10 月 12 日(金) 必着

提出先：日本光学会庶務幹事 津村徳道

〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学大学院融合科学研究科

電話 043-290-3262 Fax 043-290-3262

E-mail: ronbun07@grace.ocn.ne.jp

結果は「光学」第37巻第3号において発表されます。

平成20年度幹事立候補者募集

平成20年度新幹事選出（任期2年，毎年半数交代）の候補者として，本会の運営に熱意ある会員の方々の立候補を募集いたします。役員選挙その他に関する内規は本号421ページをご覧ください。候補者は自薦・他薦を問いませんが，他薦の場合は本人の承諾を必要とします。候補者の推薦理由をつけてご推薦をお願いします。立候補照会およびお問い合わせは庶務幹事の岡本までお願いします。

立候補締切：2007年8月10日（金）

問合せ先：日本光学会庶務幹事 岡本隆之

〒352-0198 和光市広沢2-1（独）理化学研究所 河田ナノフォトニクス研究室

電話 048-462-1111 内線8557 Fax 048-462-4653

E-mail: osj_somu@grace.ocn.ne.jp

第233回「光学」編集委員会

2007年5月11日（金）に，応用物理学会会議室において開催されました。第37巻第2，3号の企画決定，第37巻第5号の第二次構想案，第37巻第4号および第6，7号の第一次構想案の審議，第37巻第8，9号の号担当の決定が行われました。その後，報告および審議事項を経て，論文投稿・審査状況についての報告，各号の進捗状況の報告，会計の報告，幹事会の報告がなされました。

Optics & Photonics Japan 2007

期 日：2007年11月26日（月）～2007年11月28日（水）

場 所：大阪大学コンベンションセンター（吹田キャンパス）

問合せ先：OPJ 2007事務局

電話 03-5925-2840 Fax 03-5925-2913

E-mail: opj@opt-j.com

詳細は第36巻6号の綴り込み案内，またはホームページ（<http://www.opt-j.com/opj2007/>）をご覧ください。

第41回サマーセミナー

テーマ：光とナノスケールの世界

期 日：2007年8月27日（月）～28日（火）

場 所：富士教育研修所（〒410-1105 裾野市下和田656）

主 催：日本光学会

問合せ先：応用物理学会 伊丹

電話 03-3238-1043 Fax 03-3221-6245

E-mail: divisions@jsap.or.jp

詳細は第36巻6号の綴り込み案内，または日本光学会ホームページ（<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>）をご覧ください。

ODF'08, Taipei (6th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication) 講演募集

光学・フォトニクス設計と製造に関する国際学会 ODF'08, Taipei を開催します。科学的・技術的な研究成果についての講演を募集しています。奮ってご応募ください。

期 日：2008年6月9日～6月11日

場 所：Taipei International Convention Center (OPTO Taiwan '08 同時開催)

主 催：日本光学会光設計研究グループ，The Optical Engineering Society, Taiwan, National Central University, Taiwan

募集内容：下記分野のトピックスに関する新しい研究で未発表のもの。レンズ/回折光学素子/偏光素子/フォトニック結晶/光導波路/光学薄膜/マルチプレクサー/デマルチプレクサー/光 MEMS/レーザー/光増幅器/光ファイバー通信/情報処理光学/光記録/顕微鏡/照明光学系/リソグラフィ/光プリンター/三次元ディスプレイ/光シミュレーションに関する理論，設計，製造，評価，応用など。

応募資格：どなたでも応募できます。

発表方法：口頭講演もしくはポスター（英語での発表）

講演申込方法：35ワード以内のアブストラクトと図・表を含めA4判2ページ以内の原稿（いずれも英文）を下記宛に申し込みください（締切必着）。詳細は Call for Papers を参照ください。

締 切：2007年12月10日必着（アブストラクト・原稿とも）

問合せ先：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-1 プロメナ神戸16F

(株)プロアクティブリエゾングループ 林 剛志

電話 078-366-5050 Fax 078-366-5051

E-mail: odf08@pac.ne.jp URL: <http://www.odf.jp/>

第7回情報フォトニクス研究グループ研究会（秋合宿）

情報フォトニクス研究グループの研究分野を広げるため，食品やスポーツ分野の研究者・開発者に情報フォトニクス研究グループが行っている研究内容および活動を知っていただくとともに，意見交換・コラボレートの可能性を探ります。また，若手研究者による積極的なアピールがで

きる場所の提供を行います。

テーマ： New Channels for Information Photonics～彩
り豊かな情報フォトンクスへ～

期 日： 2007年9月13日(木), 14日(金)

場 所： 宮島グランドホテル有もと (廿日市市宮島町南
町364 <http://www.miyajima-arimoto.co.jp/>)

主 催： 日本光学会情報フォトンクス研究グループ
プログラム：

<9月13日(木)>

13:00~14:50 情報フォトンクス分野から

「フォトニック情報システム—いままで、いま、これから— (仮題)」一岡芳樹 (大阪大名誉教授)

「情報フォトンクス研究グループについて (仮題)」早崎
芳夫 (徳島大)

「高度ビジュアルインターフェイスフォトンクス WG か
ら (仮題)」宮崎大介 (大阪市大)

15:00~16:40 様々な分野から見た情報フォトンクス

「医療分野から見た情報フォトンクス (仮題)」石原 謙
(愛媛大)

「食品分野から見た情報フォトンクス (仮題)」角川幸治
(広島工大)

「スポーツ分野から見た情報フォトンクス (仮題)」演者
交渉中

16:50~17:30, 20:00 ショートプレゼンテーション&
ポスターセッション

<9月14日(金)>

8:30~ パネルディスカッション

10:40~ 国際会議報告, ワーキンググループ報告, ほか
参加費： 食事・宿泊ありの場合, 一般17,000円, 学生
11,000円. 講演会のみの場合, 一般4,000円, 学生
1,000円.

参加申込方法： 氏名, 所属, 参加費種別 (一般・学生),
食事・宿泊の有無を明記の上, E-mail にてお申し込
みください.

申込締切： 2007年8月10日(金)

定 員： 100名 (定員になり次第, 締め切らせていただ
きます.)

申込・問合せ先： 山田憲嗣 (広島工大)

E-mail: ipga@fourier.jwu.ac.jp

詳細は情報フォトンクス研究グループウェブサイト
<http://www.i-photonics.jp/meetings.html> をご覧ください.

「波動光学」技術講座

本講座は, 波動光学の概要を電磁気の方程式から出発し
て理解することを目標としています. 特に, 自由空間伝
播, 偏光, 結晶光学, 単一面および多層膜での屈折・反
射, 干渉の基礎とその応用, 回折とその応用, それらを利用
した結像論とホログラフィーについて, できるだけ統一
的な立場から説明します. また, 同時に各現象の間の関連
および最近の応用例に関してもふれる予定です.

日 時： 2007年9月19日(水), 20日(木) 両日とも
9:30~17:00

場 所： 機械振興会館別館4階 日本オプトメカトロニ
クス協会会議室 (東京都港区芝公園3-5-22)

講 師： 山口一郎氏 (理化学研究所名誉研究員)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1名につき, 一般68,250円, 正会員45,150円,
賛助会員54,600円, 協賛60,900円 (テキスト代・消
費税を含む)

定 員： 20名

申込期限： 2007年9月12日(水)

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp/>

「収差論」技術講座

本技術講座は専門性の高い内容となっておりますので,
すでにJOEM主催の「光学系基礎理論」技術講座 (講
師・荒木敬介) を受講された方, または実務で1~2年以
上の光学設計に携わっている方を対象としております. 講
義のほか演習を加え, 研修者が光学設計における収差論の
意義と役割を実際に体得されることを主眼にしています.
多様な光学系に対する収差係数の正規化について統一的な
理解ができるように配慮されています.

日 時： 2007年9月13日, 27日, 10月11日, 25日,
11月8日, 22日, 12月6日, 20日 (計8日, すべて
木曜日) 各回13:30~17:00

場 所： 機械振興会館別館4階 日本オプトメカトロニ
クス協会研修室 (東京都港区芝公園3-5-22)

講 師： 荒木敬介氏 (キヤノン)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

プログラム： 「収差論」1) 序論, 2) 収差論の導出, 3) 実
用的な収差論とその公式, 4) 収差論応用のケースス
タディ

参加費：1名につき、一般147,000円、正会員96,600円、賛助会員117,600円、協賛132,300円（テキスト代・消費税を含む）

申込期限：2007年9月6日(木)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp/>

14th European Conference on Integrated Optics: ECIO'08

光集積回路（フォトニック集積回路）（モノリシックおよびハイブリッド）と導波型光デバイス（受動，能動，非線形光学，フォトニック結晶等）のモデリング，設計，材

料，作製と実装および応用に関する論文発表と討論。展示会並行開催。詳しくはホームページ (<http://www.ecio08.eu/>) をご覧ください。

期 日：2008年6月11日～13日

場 所：Technical University of Eindhoven, Eindhoven, The Netherlands

主 催：ECIO 実行委員会

論文締切：2008年3月1日

国内問合せ先：大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻 栖原敏明

電話 06-6879-7771 Fax 06-6879-7793

E-mail: suhara@eei.eng.osaka-u.ac.jp

<http://www.ecio08.eu/>

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒220-0073 横浜市西区岡野 2-4-3 古河電気工業(株) 横浜研究所解析技術センター

麻生 修

電話 045-311-1212 Fax 045-314-5190 E-mail: aso@ch.furukawa.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成19年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	
副幹事長：	笹木 敬司* (北海道大)	渡辺 正信* (産総研)
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	岡本 隆之* (理化学研)	津村 徳道* (千葉大)
	田中 哲* (防衛大)	石橋 爾子* (ネオアーク)
	菅谷 綾子* (ニコン)	生駒 晋也* (トプコン)
	竹内 誠二* (キャノン)	麻生 修* (古河電工)
	芦原 聡* (東京農工大)	
【光学】編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
【OPTICAL REVIEW】編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	各務 学 (豊田中央研)	中川 清 (香川大)
産学協力幹事：	藤井 秀雄 (ペンタックス)	石樽 崇明 (慶應義塾大)
将来問題担当幹事：	清水 賀代 (日本女子大)	谷川ゆかり (産総研)
電子化担当幹事：	伊藤 達男 (松下電器)	森野 剛志 (東芝)
事業・企画担当幹事：	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	岡田 訓明 (シャープ)
	板橋 彰久 (リコー)	白石 武嗣 (コニカミノルタオプト)
	武山 哲英 (オリンパス)	西畑 純弘 (富士フイルム)
	忠永 修** (NTT)	吉川 宣一 (埼玉大)
	佐藤 雅之 (北九州市立大)	二瓶 裕之 (北海道医療大)
	佐藤 俊一 (東北大)	田代 発造 (富山大)
	鈴木 孝昌 (新潟大)	杉田 篤史 (静岡大)
	和田 健司 (大阪府立大)	松尾 繁樹 (徳島大)
	入江 正浩 (九州大)	

** 幹事代理。次回幹事選挙にて幹事会推薦予定。